



LWB-16M/LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.3

ADS-72 ファームウェア Ver.1.4.2

リリースノート

2016年10月12日
オタリテック株式会社

弊社製品をご使用いただき厚く御礼申し上げます。LWB-16M/LWB-64 ファームウェアおよび ADS-72 ファームウェアの新しいバージョンをリリースいたしましたので、ご報告いたします。バージョンアップを実施するにあたり、下記の注意事項とバージョンレポートにご留意いただけますようお願い申し上げます。

1 注意事項

1-1 互換性

Lightwinder Commander V2 (LWB コメンタリー&コミュニケーション・システム用コントロール・ソフトウェア, 以降 LwcV2) および LWB または ADS 本体 (ハードウェア) との互換性に関連する重大な変更はありません。

2 バージョンレポート

2-1 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.3

2-1-1 制限事項, 不具合の改修

※ 以下の症状は LWB-16M/LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.0 ~ Ver.3.6.2 の全てのバージョンにて発生します。

1 コメンタリー・ボックス等のボックス接続に関する以下の不具合を改修しました。

- ・任意の LWB において、LWB を起動、またはボックスを接続 (追加) するとき、最大接続数*よりも多いボックスが接続していても全てのボックスに電源を供給しようとする。
- ・任意の LWB においてボックスが最大接続数*接続しているとき、その内の 1 台でも取り外すと、その後、ボックスを追加、再接続しても電源が供給されず認識されない。

最大接続数* : コメンタリー・ボックスのみ接続した場合、通常、LWB-64 では 10 台、LWB-16M では 5 台。詳しくは「LWB-16M & LWB-64 用 コメンタリー&コミュニケーション・システム 取扱説明書 (第 2.2 版)」→「1.1 主な特長とシステム構成」→「C. ボックス」を参照してください。

2-2 ADS-72 ファームウェア Ver.1.4.2

ADS-72 のファームウェアは、ユニット単体での動作に特化している点を除けば基本的に LWB-16M/LWB-64 のファームウェアと同等です。ADS-72 ファームウェア Ver.1.4.2 には、「2-1 LWB-16M/LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.3」に記した項目が反映されています。

※ 2-1-1 の対象となる ADS-72 のファームウェアは Ver.1.4.0 および Ver.1.4.1。ADS-72 には、通常、10 台のコメンタリー・ボックスが接続できます。

2-3 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.2 (2016年5月)

主な変更 : Ver.3.6.0 または Ver.3.6.1 と Ver.3.1.0 ~ Ver.3.4.1 の何れかのファームウェアの LWB が混在したシステムにおける、本体操作によるルーティング No.設定ができなくなる場合がある不具合の改修 (詳細は LWB_RN_w362.pdf を参照してください)

2-4 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.1 / ADS-72 ファームウェア Ver.1.4.1 (2016年3月)

主な変更 : コメントリー・ボックス本線のマイク・パラメーターが、LWB またはボックス再起動時に再起動前の値にリストアされない不具合の改修 (詳細は LWB_ADS_RN_w361_a141.pdf を参照してください)

2-5 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.6.0 / ADS-72 ファームウェア Ver.1.4.0 (2016年2月)

主な変更 : オーディオ・ボックス (Ver. A) のローカル操作対応, LWB 内蔵 Ext-Sync モジュールの誤動作による E9 発生の対策追加 (詳細は LWB_ADS_RN_w360_a140.pdf を参照してください)

2-6 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.5.0 / ADS-72 ファームウェア Ver.1.3.0 (2014年11月)

主な変更 : GPI モジュールおよびコメントリー・ボックス拡張機能 (本線強制 ON, GPI 連動, 本線 B 追加) に対応. MADI モジュールのホットプラグ, ルーティングに関する不具合の改修 (詳細は LWB_ADS_RN_w350_a130.pdf を参照してください)

2-7 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.4.1 / ADS-72 ファームウェア Ver.1.2.1 (2014年5月)

主な変更 : MADI モジュールの MADI 出力信号において, チャンネル・ステータスの CRCC 値 (Byte 23) が正しく設定されていない不具合等の改修 (詳細は LWB_ADS_RN_w341_a121.pdf を参照してください)

2-8 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.4.0 / ADS-72 ファームウェア Ver.1.2.0 (2013年12月)

主な変更 : オーディオ・ボックス対応. AES3 SRC の間接選択による制御方法の変更. 複数のコメントリー・ボックスの ID を通電状態で入れ替えた場合に生じる不具合等の改修 (詳細は LWB_ADS_RN_w340_a120.pdf を参照してください)

2-9 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.3.0 / ADS-72 ファームウェア Ver.1.1.0 (2013年8月)

主な変更 : LwcV2 に認識された LWB には入力チャンネルに設定されたルーティング No.を使用し続ける優先権を与える. その他の機能改良および不具合改修 (詳細は LWB_ADS_RN_w330_a110.pdf を参照してください)

2-10 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.2.4 (2013年2月)

主な変更 : LWB が 3 台 (①②③とする) 接続したときに②→①, ③→①のルーティングがある場合, ①②のみを接続した後に電源を切らずに①③のみの接続に切り替えると③→①に設定していないルーティングが現れる不具合の改修 (詳細は LWB_RN_f324.pdf を参照してください)

2-11 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.2.3 (2012年9月)

主な変更 : 不具合改修 (詳細は LWB_RN_g211_f323.pdf を参照してください)

2-12 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.2.2 (2012年6月)

主な変更 : 不具合改修 (詳細は LWB_RN_g210_f322.pdf を参照してください)

2-13 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.2.1 (2012年5月)

主な変更 : 不具合改修 (詳細は LWB_RN_f320_321.pdf を参照してください)

2-14 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.2.0 (2012年4月)

主な変更 : MADI モジュール対応, 96kHz 対応, Ver.2 モード削除, マルチチャンネル・ルーティング機能追加, 不具合改修 (詳細は LWB_RN_f320_321.pdf を参照してください)

2-15 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.1.2/Ver.2.2.5 (2012年1月)

主な変更 : キーロック=オン時に設定操作を行なうと 7 セグメント LED に'LC'と表示する機能の追加, 不具合改修 (詳細は LWB_RN_g201_f312.pdf を参照してください)

2-16 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.1.1/Ver.2.2.4 (2011年10月)

変更 : ボックス接続時にモジュール通信エラー「E6」が表示される誤動作の改修 (詳細はLWB_RN_f311.pdfを参照してください)

2-17 LWB-16M / LWB-64 ファームウェア Ver.3.1.0/Ver.2.2.3 (2011年9月)

主な変更 : LwcV2 対応, 不具合改修 (詳細はLWB_RN_g200_f310.pdfを参照してください)

以上